

| 日時                           | 発表番号      | 企画者名   | 主題   | 副題   |
|------------------------------|-----------|--------|--|--|
| 2024年10月5日（土）<br>13:00~14:30 | 自主シンポジウム① | 小谷 裕実  | 発達障害学生のキャリア発達支援と社会移行の課題                          | －大学における支援の現状と企業との連携・協働－                      |
|                              | 自主シンポジウム② | 榎本 容子  | 保護者と共に創る小学校段階からのキャリア発達支援プログラム                    | 一就労を見据え家庭でできることは何か？ 学校はそれをどう支えることができるか？－     |
|                              | 自主シンポジウム③ | 武部 正明  | 知的・発達障害の当事者たちが企画・運営・発信するインクルーシブな生涯学習プログラムの開発：その2 |  |
|                              | 自主シンポジウム④ | 根本 昌彦  | 強度行動障害を有する知的・発達障害に関わる医療従事者向け研修プログラム開発に向けた研究      | 食事場面から考える、看護師向け研修プログラムについて                   |
|                              | 自主シンポジウム⑤ | 山元 薫   | 多様性を包括する学校経営と一人一人の学びの充実                          | 授業ユニバーサルデザインと学びのユニバーサルデザイン                   |
| 2024年10月5日（土）<br>15:00~16:30 | 自主シンポジウム⑥ | 田中 里実  | 情緒障害と育てにくさの実態と支援について                             | －乳児から青年期における位相を考える－                          |
|                              | 自主シンポジウム⑦ | 生田 友和  | 発達障害当事者と有酸素運動の効果、手段、方法                           | 発達障害当事者が社会参加をしていくための2つのアプローチ、及びダイエットのやり方について |
|                              | 自主シンポジウム⑧ | 武子 愛   | 知的障害者の性行動・性的表現に対する親・支援者の認識                       | 一機関誌『手をつなぐ親たち』・『手をつなぐ』を手がかりとした検討一            |
|                              | 自主シンポジウム⑨ | 真鍋 健   | 障害のある幼児の幼児期から学童期へのステップアップに支援者はどう寄り添っているのか        | 幼児期の経験と学びを確かに繋いでいくために                        |
|                              | 自主シンポジウム⑩ | 前川 圭一郎 | 教育領域におけるポジティブ行動支援の展開                             |  |
|                              | 自主シンポジウム⑪ | 未光 茂   | [医療的ケア児]の生涯発達のためのインクルーシブ保育・教育への挑戦                |  |
| 2024年10月6日（日）<br>10:30~12:00 | 自主シンポジウム⑫ | 柳本 雄次  | 特別支援学校等における自立活動の指導へのスヌーズレンの適用の可能性について            |  |
|                              | 自主シンポジウム⑭ | 梅永 雄二  | 見えざる障害 境界知能                                      | 成人期のトラブルを回避するための支援のあり方                       |
|                              | 自主シンポジウム⑮ | 山口 明乙香 | 発達障害等のある子どもの「できる」を創り出すICT活用とその障壁                 | 一学校卒業後のキャリアアップ形成を見越した支援について考える－              |
| 2024年10月6日（日）<br>13:00~14:30 | 自主シンポジウム⑯ | 橋本 創一  | AAIDDによる知的障害マニュアル ver.12の影響について                  | 一診断、療育手帳、就学と教育支援を考える－                        |
|                              | 自主シンポジウム⑰ | 門下 祐子  | 障害のある人のキャリア発達支援                                  | ライフキャリアに着目して                                 |
|                              | 自主シンポジウム⑱ | 米澤 巧美  | 強度行動障害の状態を有する児者に対する集中的支援の在り方                     |  |
|                              | 自主シンポジウム⑲ | 大村 美保  | 地域生活支援拠点等におけるコーディネーターに求められる役割や業務等の明確化            | 拠点コーディネーターガイドブックから地域生活支援拠点等のあり方を考える          |
|                              | 自主シンポジウム⑳ | 相馬 大祐  | 相談支援専門員への効果的な人材育成                                | 法定研修とOJTが連動した取り組みからの考察                       |
|                              | 自主シンポジウム㉑ | 野澤 純子  | 障害の可能性のある外国人幼児の早期把握と移行支援の課題                      |  |
|                              | 自主シンポジウム㉒ | 徳田 朋子  | 知的障害のある子どもの「よさ」を生かした自立活動の指導実践モデルの開発              | 各話題提供者が考える指導実践モデル（案）の提案                      |